

M-AUDIO® KEYSTATION 49 MK3

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://m-audio.jp>

M-AUDIO® <お問い合わせ>

inMusic Japan 株式会社

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

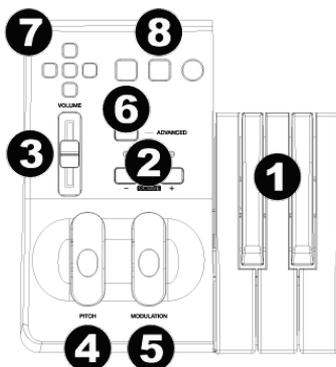
<http://m-audio.jp/support/>

初期設定

インストール作業を完了した後に MIDI アプリケーションの設定をする必要があります。Keystation は本体にサウンドのプリセットを搭載していないため、そのままでは鍵盤を押しても音は出ません。鍵盤を押すと Keystation から MIDI データのみが送信されるからです。MIDI データはどのような音が演奏されるのかについての指示を与えますが、実際にその音を聴くには、Keystation から送られてくる MIDI データを読み込んで指示通りにその音を演奏するように MIDI アプリケーションを設定する必要があります。この設定には、一般に、MIDI アプリケーションのオプションメニューやデバイス設定メニューにおいて適当な機器を選択することが必要になります。Keystation は、Windows では「USB オーディオデバイス (USB Audio Device)」などとして表示され、その他のオペレーティングシステムでは、音楽アプリケーションの MIDI デバイスセクションの中に「Keystation (49、61、88)」として表示されます。正しい設定作業については、MIDI アプリケーションのマニュアルをご参照ください。

各部の機能

トップパネル



キーボード

白鍵と黒鍵にはそれぞれ役割の名称が表示されています。これらの鍵盤を使って、MIDI チャンネルの設定やトランスポーズ、プログラム・チェンジ情報の送信などを行います。

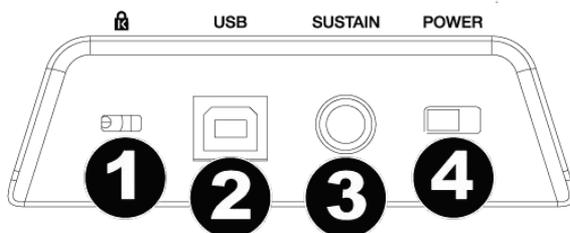
オクターブ・ボタン

オクターブ「+」ボタンを一回押すと、オクターブ「-」ボタンの上の LED が消えキーボードが現在 1 オクターブ高い状態であることを示します。再びオクターブ「+」ボタンを押すと、キーボードは 2 オクターブ高い状態になります。以後、同様にシフトアップします。キーボードはオクターブシフト 0 の状態から音域を上下にそれぞれ最高 4オクターブ変化させることが可能です。

オクターブ「-」ボタンを押すと、オクターブ「+」ボタンの上の LED が消え 1 オクターブ下がります。もし、オクターブ「-」ボタンの上の LED のみが点灯している場合は、まだ 0 設定より低いオクターブであることを示します。オクターブ「+」ボタンの上の LED のみが点灯している場合は 0 設定より高いオクターブを示します。

キーボードのオクターブシフトを「0」設置の状態に戻すにはオクターブ「+」ボタンとオクターブ「-」ボタンを同時に押します。両方の LED が点灯して、オクターブシフトが「0」に戻ったことを示します。

設定可能な 7つのMIDI機能を操作するには、オクターブ「+」と「-」ボタンを使用します。詳しくは「アドバンスド・ファンクション」の項をご参照ください。



1. Kensington®Lock：セキュリティ・ケーブルを接続します。
2. USB 端子：USB ケーブルでコンピュータと接続します。1 本の USB ケーブルで、電源の供給と MIDI 信号のやり取りを同時に行います。
3. サスティン・ペダル端子：アンラッチ・タイプのフットス POWERイッチ（別売）を接続します。スイッチを押すと、キーボードを押さえ続けることなく、演奏した音を持続します。
4. ヒント：Keystation キーボードは、電源投入時にサスティン・ペダルの極性を自動的に認識しますので、ペダルの極性を問いません。キーボードの電源を入れる前にペダルを接続してください。もし、ペダルの動きが効果と逆になってしまった場合は、ペダルを踏みながら Keystation の電源をオンにしてください。
4. オン / オフ・スイッチ：キーボードの電源をオン・オフします。

M-AUDIO

コントロール・チェンジ

オクターブ/データボタンを設定し、オン/オフを切り替えることのできるコントロールチェンジメッセージを送信するには、以下の手順を行います。

1. Advancedボタンを押して編集モードにします。
2. 「CC」を表す黒鍵盤（Eb3）を押します。
3. 数値データ入力鍵盤G4～B5を使い、「+」「-」ボタンにアサインしたいコントロールチェンジの番号を入力します。
4. 設定されたMIDIコントロール・チェンジ・メッセージをオン/オフにして送信します（一回押すとオン、もう一度押すとオフになります）。

Octave「+」「-」ボタンは、一時的なMIDIコントロール・チェンジ・メッセージを送信することもできます。Octave / Dataボタンを一時的なMIDIコントロール・チェンジ・メッセージに設定するには、以下の手順を行います。

1. Advancedボタンを押して編集モードにします。
2. 「CC」を表す黒鍵盤（Eb3）を2回押します。
注：一時的なCCメッセージを「+」「-」ボタンに設定すると、LEDが点滅します。
3. 数値データ入力鍵盤G4～B5を使い、「+」「-」ボタンに割り当てるアサインしたいコントロールチェンジの番号を入力します。
4. 設定されたMIDIコントロール・チェンジ・メッセージをオン/オフにして送信します（一回押すとオン、もう一度押すとオフになります）。

M-AUDIO

付録

技術仕様

電源：USB バスパワー

サイズ (W x D x H)：約 822 x 189 x 68 mm

重量：約 2.14kg

商標およびライセンス

M-Audioは inMusic Brands, Inc., の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Mackie Controlと HUIは LOUD Technologies Inc. の商標または登録商標です。

Macと iPad、OS Xは Apple Inc., の商標またはサービス・マークであり、米国およびその他の国々で登録されています。

Windowsは、米国およびその他の国々において、Microsoft Corporation の登録商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japanは、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づきinMusic Japanが負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japanでのみ行われるものとします。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマー・サポートへご相談ください。

保証書	
製品名:	
製造番号:	
ご購入日:	
保証期間: ご購入日から一年間	
お客様	販売店名
お名前:	ご住所:
ご住所:	
お電話:	お電話:

inMusic Japan株式会社 カスタマー・サポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ: <http://m-audio.jp/support/>

- ・ 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- ・ 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- ・ 本書は日本国内においてのみ有効です。

UGMAUDIOKAYS49MK310